

## R6\_春号のトピックス

福岡では、例年2月は雪が降るなど寒い季節ですが、今年は暖冬であつという間に春が来そうな気配です。ただし、インフルエンザなどの感染症は例年同様猛威を振っていることから、部員一同引き続き予防しつつ、業務に取り組んでおります。

さて、西技環境ニュース R6\_春号では、下記トピックスをご紹介致します。

- ✓ バードウォッチングのススメ
- ✓ 環境部の主な業務内容(R5年度)
- ✓ 西技奮闘記！(北国編/南国編)

浜野浦の棚田  
(佐賀県玄海町)



## バードウォッチングのススメ

これから先、鳥類は春の渡りから繁殖の時期を迎えます。この時期は比較的鳥を見つけやすく、バードウォッチングには最適です。

今回は、春の渡りや繁殖期に見つけやすい鳥についてご紹介します。

### 【春の渡り】

※1：日本に越冬のため渡来、※2：日本に繁殖のため渡来

そろそろ暖かくなり始め、カモ類などの冬鳥※1は北方に去り、キビタキやオオヨシキリなどの夏鳥※2が南方からやって来ます。このような鳥の移動を「渡り」といい、これから始まる渡りは「春の渡り」と言われます。九州では、ニュースでも紹介される「ツルの北帰行」が有名です。

このツルですが、渡りの時期に北部九州を通過する際、風向きによっては佐賀や筑後などの平野部に一時的に立ち寄ったりすることがあります。その際「ツルが来た！」と地域の話題になることがありますが、もしその機会に恵まれたら、大騒ぎせず、静かに観察して頂くと、ツルも落ち着いて休めると思います。



オシドリ(冬鳥)



キビタキ(夏鳥)

### 紛らわしい鳥 ツルとアオサギ

アオサギは水辺や田んぼなどで年中みることが出来る鳥ですが、大きさがツルに近く、スッとした立ち姿から、たまにツルと間違える方がいらっしゃいます。

そこで今回は、見分け方のポイントをご紹介します。

右写真のとおり、ツルは首を真っ直ぐ伸ばして飛ぶのに対し、アオサギは首をS字型に折り曲げて飛びます。首をS字型に折り曲げて飛ぶのはサギの仲間の特徴であり、誰が見ても間違えることのないポイントです。

飛んでいる時の豆知識として覚えておくと、バードウォッチングがより楽しめると思います。



マナヅル



アオサギ

立ち姿は似ているが、飛翔の姿は全く異なる

### 【繁殖期】

渡りの時期が過ぎると、鳥類は繁殖の時期に入ります。この時期、オスはなわばりの主張やメスへのアピールのため、いつもと違う「さえずり」という鳴き方をします。

「さえずり」は美しい鳴き声の場合が多く、声も大きい目立ちます。また、多くは枝先や木のてっぺんなどの目立つところで鳴くため、この時期は鳥を見つけやすくなります。

「さえずり」で有名なのはウグイスの「ホーホケキョ」です。その他、ヨシ原で聞かれることの多いオオヨシキリの「ギョギョシ」も良く知られています。

ウグイスは藪の中で鳴くため見つけにくいですが、オオヨシキリはヨシの先やヨシ原にある木の目立つところに止まって鳴くため見つけやすいです。

その他、ホオジロは草のてっぺん、オオルリは沢筋近くの木のてっぺんなどに止まって鳴くため、こちらも見つけやすい鳥になります。

これからのシーズン、川辺などを散歩がてら、バードウォッチングしてはいかがでしょうか。



ウグイス



オオヨシキリ

### 日本三鳴鳥(にほんさんめいちょう)

「さえずり」をする鳥のうち、日本三鳴鳥と呼ばれる美しい鳴き声をもつ3種をご紹介します。

#### ウグイス

「ホーホケキョ」という鳴き声有名。藪の中を動きながら鳴くため、見つけることは難しい。



#### オオルリ

「ヒー、リー、リー、ジュジュツ」と鳴く。沢筋近くの木のてっぺんなどに止まって鳴くため、見つけやすい。



#### コマドリ

「ヒン、カラララ・・・」と大きな声で鳴く。九州では比較的高い山に生息し、藪の中で鳴くため、見つけることは難しい。

背中がオレンジ色をした綺麗な鳥  
写真が無くゴメンナサイ

今回掲載した写真は、環境部員が随所で撮り溜めしたものです。コマドリの写真のみ提供できませんでしたが、長年鳥を見続け、本記事を担当した須河内(すごうち)も、まだ見たことがないとか。

この機会に是非見つけてみてはいかがでしょうか。

## 環境部の主な業務内容(R5 年度)

R6、2 時点での主な業務内容は、以下のとおりとなっています。

| 官公庁事業関連(国内) |                                                                                                                                                                                                                                 | 官公庁事業関連(国外)          |                                                                        |                                                                |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 国交省         | 山国川流域環境特性検討業務<br>緑川ダム水辺現地調査(魚類等)業務<br>大淀川・小丸川河川水辺環境調査(底生・基図)業務<br>遠賀川水系自然再生事業モニタリング調査業務<br>矢部川水系水辺現地調査(両爬喃)業務<br>遠賀川水系水辺現地調査(魚類)業務<br>宮崎海岸モニタリング環境調査・分析検討業務<br>五ヶ瀬川河川水辺の国勢調査(両生類等)業務<br>厳木ダムフォローアップ評価検討業務<br>環境調査(陸上昆虫類外)標本保管管理 | JICA                 | ケニア国地熱発電事業における蒸気供給管理能力向上プロジェクト<br>インドネシア国国有地熱発電事業者の新規開発地点に関する情報収集・確認調査 |                                                                |
|             |                                                                                                                                                                                                                                 | PT.PLN               | インドネシア国ウルンプ・マタロコ地熱発電プロジェクト業務                                           |                                                                |
|             |                                                                                                                                                                                                                                 | 民間事業関連               |                                                                        |                                                                |
|             |                                                                                                                                                                                                                                 | 環境調査<br>予測評価<br>対策検討 | ダム水質や通砂事業に伴う環境調査・解析、魚類遡上調査、地下水分析検討、発電所工事に伴う騒音予測など                      |                                                                |
| 福岡県         | 国道322号香春大任バイパス水文調査業務<br>西川観音井堰詳細設計業務<br>紫川水系水辺の国勢調査業務委託<br>今川堰魚道検討業務委託                                                                                                                                                          | 環境<br>影響<br>評価       | 法<br>条<br>例                                                            | 洋上・陸上風力発電所新設に係る環境影響評価、火力発電所リブレースに係る環境影響評価、火力発電所建設に係る植物保全業務  など |
| 長崎県         | 一般国道251号道路改良工事(水文調査業務委託その7)<br>浦上ダム(貯水池掘削および仮設備実施設計業務委託)                                                                                                                                                                        |                      |                                                                        | 自<br>主                                                         |
| 熊本県         | 有明海特産魚介類生息環境調査(浮遊幼生等調査)                                                                                                                                                                                                         |                      |                                                                        |                                                                |
| 相良村         | 川辺川魅力創造事業基本計画策定等業務委託                                                                                                                                                                                                            |                      |                                                                        |                                                                |

### 部員たちの活動

大淀川・小丸川水辺の国勢調査の魚類アドバイザーである宮崎大学の村瀬准教授と環境部員※の共著論文が、日本生物地理学会に受理されました！

【論文名】宮崎県の淡水産在来魚類相に関する基礎的知見

い は ら い し ま つ さ い と う  
※ 井原、石松、齋藤の3名

## 西技奮闘記！(北国編／南国編)

現在、日本列島北と南で奔走している2人の環境部員のはみだし話についてご紹介します！

### 北国編 ～北の大地 極寒との闘い～

#### 【現地の気象と防寒対策】

調査に出向いた週は、北海道アメダス陸別で-27.1℃を観測、今季全国最低気温を更新しました。通常装備では耐えられないことから、万全の備えで乗り込みました。

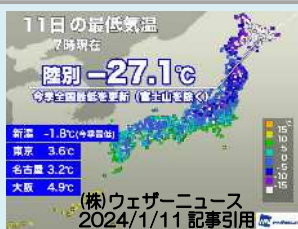
#### 【今回購入した装備】



購入した装備

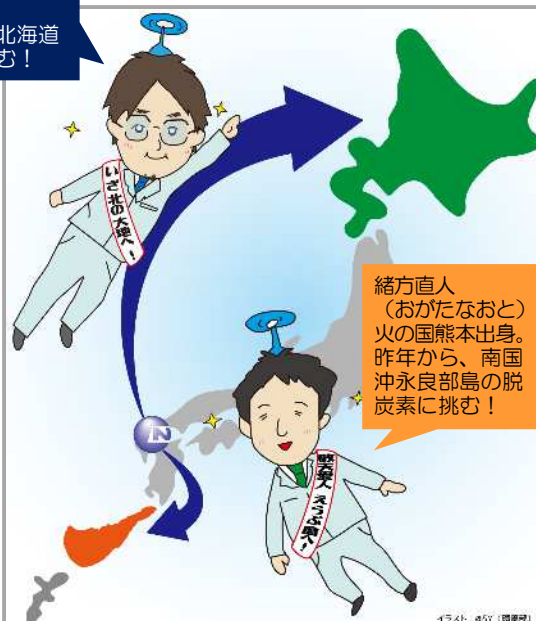
ジャケットは、北極圏や南極大陸など極寒地での活動を想定し作られたサザンクロスパーカー、靴は、保温性や防水性が高く、-40℃耐久仕様であるカリブールブーツを購入しました。

調査は無事終了！甲斐日く、「初めてのパウダースノーが脳を刺激し、なんとか耐えられた」とのことでした。



12月に遭遇したエゾシマリス

甲斐達也  
(かいたつや)  
南国宮崎出身。  
年初早々、冬の北海道の現地調査に挑む！



緒方直人  
(おがたなおと)  
火の国熊本出身。  
昨年、南国沖永良部島の脱炭素に挑む！

### 南国編 ～南の島 地域密着大作戦～

#### 【沖永良部島の取り組み】

沖永良部島にある知名町と和泊町は、環境省の脱炭素先行地域※に選定されており、現在、国の補助を受けながら、離島特有の様々な課題を克服しつつ、再生可能エネルギーの導入など低炭素社会の実現に向けて検討を進めています。

※環境省 HP 参照 : <https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/>



ワークショップの様子

#### 【環境部の役目】

環境部は、再生可能エネルギー導入に関する環境面からのお手伝いをさせて頂いており、主担当の緒方は、既存の再エネ施設の状況、地域課題の把握、今後の導入に向けた可能性の検討を行っています。また、導入検討に当たっては、地元の方々の想いを出来るだけ反映することを目的としたワークショップを開催し、環境への思い、島の特徴や将来像を1枚の絵に仕上げるなど、地域のみなさんと一緒に取り組みを進めています。

沖永良部島に設置されている風力発電施設



本記事は、遠い昔に沖永良部島2年勤務の佐々木(ささき)、イラストは@SY(当部縁の下ライター)が担当しました。